



NEWS (PRESS) RELEASE



令和2年1月24日
志摩市産業振興部農林課

タイトル

志摩市内初！ 志摩市認定ジビエ加工施設がオープンします！

概要



志摩市内におけるイノシシやシカによる農作物の被害は、年間約 2,400 万円（平成 30 年度）となっており、経済的な損失だけでなく農業を継続しようという意欲が減退するなど大きな問題となっています。このため、市では、農家の皆さんが電気柵やフェンスなどの農地の防護資材を設置する場合の補助金や、猟友会が実施する有害鳥獣の捕獲に対する報奨金を交付するなどの対策を講じて、野生鳥獣による農業被害の防止を図っています。

今回、この取り組みの一環として、市民の皆さんによる鳥獣害に強い地域づくりを目的とする取組を支援するための「志摩市鳥獣害に強い地域づくり支援事業補助金」を活用して、捕獲した鳥獣を食材として活用するためのジビエ加工施設「ジビエ大王」がオープンすることとなり、志摩市のジビエ加工施設として認定しました。この施設は、大王町の猟友会の会員の皆さんが協力して運営するもので、ジビエとしてイノシシを取り扱っていく予定となっています。



市内における平成 30 年度のイノシシ捕獲数(有害捕獲数)は、1,668 頭でしたが、令和元年度は既に 1,700 頭を超えています。市では、猟友会の会員がイノシシなどを捕獲した場合、1 頭当たり 8,000 円の捕獲報奨金を交付していますが、今まで捕獲したイノシシのほとんどが自家消費されるか焼却処理されてきました。

今回オープンするジビエ大王は、志摩市のジビエ加工施設として認定されていることから、今後は猟友会の会員が捕獲したイノシシをこの加工施設に搬入し、ジビエとして流通する場合には、1,000 円を上乗せして報奨金を交付します。これにより、さらなる捕獲数の増加につなげるとともに、志摩市のドングリの木が多い森で育ち、非常に美味しいと評価されているイノシシが高級なジビエ食材として地域内に流通し、地域経済の活性化につながることを期待できます。

なお、現在、志摩市が認定しているジビエ加工施設は、伊勢市に 1 軒ありますが、志摩市内では初めての認定となります。



オープン日時：令和2年2月2日（日）10：00

加工処理施設名：ジビエ大王

代表者氏名：田畑 博さん

所在地：志摩市大王町波切2118-2

施設の規模：木造平屋建 床面積9.94㎡

当日は、10：00から店舗がオープンします。また、10：30からシシ鍋やシシの焼肉などの試食が行われます（13：00頃終了予定）。

【開催場所】



会場周辺には駐車場がありませんので、取材にお越しの際は大王支所の駐車場をご利用ください。

お問合せ先

志摩市産業振興部農林課 担当 竹内・枅屋
TEL 0599-44-0228 FAX 0599-44-5262